

衛星データ利用者名

ANAホールディングス株式会社

サービス提供者名

慶應義塾大学

プロジェクト概要(200文字程度)

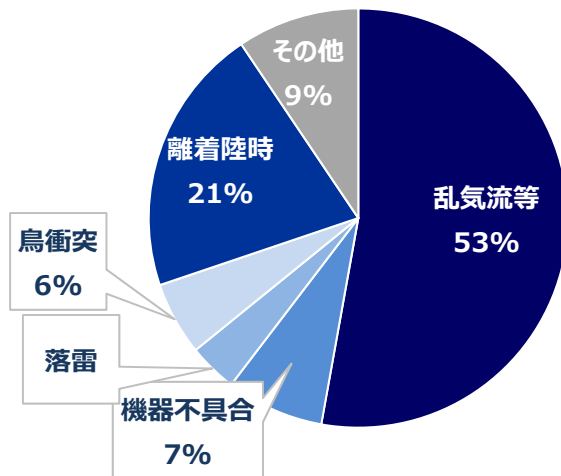
日本における大型航空機の事故の半数以上が乱気流によるものとされている。現状の気象予測では、雨雲を伴わない乱気流(晴天乱気流)を予測することは難しく、事故低減のためには航空機が通過する前に晴天乱気流を検知することが必要である。

本提案では、気象衛星ひまわりより入手できる衛星風データと航空機が測定した乱気流データを用いデータ解析学習を行うことで、晴天乱気流を事前に予測するAIモデルを構築して事故の低減を目指す。

プロジェクト詳細(図表等を用いて説明)

現状

- ◆大型航空機事故の半数以上は乱気流が要因
- ◆晴天乱気流は検知も予測も難しい
- ◆地球温暖化の影響により乱気流発生エリアが変化すると予測



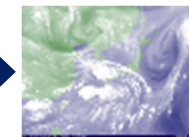
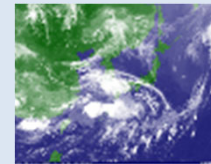
運輸安全委員会事故報告書(2000~2018年)より

目的: 衛星データ×AIにより乱気流を予測し
航空機運航の安全をサポート

実証

地球観測衛星

気象衛星ひまわり
(赤外面像/水蒸気画像)



最新の
衛星画像から
乱気流予測



過去乱気流情報

航空機からの
気象観測報告



機械学習



- ◆シートベルトサイン点灯



- ◆飛行経路・高度変更
(最適燃料/CO2排出量削減)

